

コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修 〔基礎編 STEP1〕

開催趣旨

コミュニティソーシャルワークとは、地域において生活上の課題を抱える個人や家族に対する個別支援と、それらの人々が暮らす生活環境の整備や住民の組織化等の地域支援をチームアプローチによって統合的に展開する実践です。

日本地域福祉研究所は1994年に設立後、全国各地の地域福祉実践に関するコンサルテーションや人材養成に取り組む中で、2004年よりコミュニティソーシャルワーク実践を担う専門職養成プログラムを独自に開発し実施してきました。この研修の目的は、2008年3月に厚生労働省が取りまとめた「これからの地域福祉のあり方に関する検討委員会報告書」で提言されている「地域福祉のコーディネーター」の養成と重なるものであり、住民や多職種によるネットワーク形成や社会資源の開発等、これからの地域福祉推進に不可欠な技法の修得・向上を目指すものです。

この研修プログラムは、これまで全国各地の社会福祉士研修や市町村社会福祉協議会職員研修でご活用頂くとともに、2007年度からは主任介護支援専門員研修に「コミュニティソーシャルワーク」が加わったことから各地の現任者研修を本プログラムで実施してきました。

この度、全国の方々を対象とした第6期の研修を開催致しますので、地域に関わる専門職養成・スキルアップの機会としては是非ご活用頂きたくご案内申し上げます。

日 程 2010年7月10日(土)～11日(日)

会 場 早稲田大学 14号館604教室 〒169-8050 新宿区西早稲田1-6-1

受講資格 地域福祉実践に関連する実務経験3年以上20年未満の方

(保健福祉関係行政機関、社会福祉協議会、各領域支援センター、福祉施設、NPO等の実践者)

受講料 一般 17,000円 (所員 16,000円) 宿泊費、交流懇談会費、STEP2受講料は別途要

定 員 50名(先着順)

主 催 特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所

後 援 日本社会福祉士会、日本精神保健福祉士協会、日本地域福祉学会、

(予定) ソーシャルケアサービス従事者研究協議会

本養成研修の特色

受講者自身の業務を通してコミュニティソーシャルワークの基礎的な技法を修得することを目的とした延4日間のステップアップ講座です。

STEP1は基礎的な知識や技法の学習、STEP2は各自の事例に基づいたコンサルテーションを行います。STEP2日程 2010年11月20日(土)～21日(日)

申込方法

受講申込書にご記入の上、2010年7月5日(月)までにFAXまたはEメール添付で日本地域福祉研究所事務局宛にお申し込み下さい。申込書はホームページからもダウンロードできます。

特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所

FAX 03-5225-0238 Eメール:jicw@nifty.com

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|---------|-------|-------|
| 7月10日 (土) | 9:30 | 10:00 | 10:20 | 11:20 | 11:30 | 12:30 | 13:20 | 15:20 | 15:30 | 17:30 | 17:50 | 19:50 |
| | | 受付 | 開会 | 講義 | 休憩 | 講義 | 昼食 | ワークショップ | 休憩 | ワークショップ | 移動 | 交流懇談会 |

| | | | | | | | | |
|--------------|------|---------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|
| 7月11日 (日) | 9:00 | 9:30 | 12:00 | 12:50 | 15:00 | 15:10 | 16:20 | 16:30 |
| | 受付 | ワークショップ | 昼食 | ワークショップ | 休憩 | 総括 | 閉会 | |

1日目(7月10日)

| | |
|------------|--|
| 開会 | < 10:00 ~ 10:20 > |
| 講義 I | < 10:20 ~ 11:20 > 「新たな社会福祉のシステムとコミュニティソーシャルワークの機能」 |
| 講義 II | < 11:30 ~ 12:30 > 「コミュニティソーシャルワークのプロセスと技法」 |
| ワークショップ I | < 13:20 ~ 15:20 > 「コミュニティソーシャルワークの視点による個別アセスメント」 専門職のアセスメント力はアセスメントシートに頼り過ぎると弱まりかねない。このワークショップでは、事例を通して気づきを促す研修方法により「家族全体」を捉える視点を養い、その上で「生活の全体性」や「ストレングス」に配慮しながら、「その人らしさ」に着目した支援計画に結びつけていくための個別アセスメント技法を修得する。 |
| ワークショップ II | < 15:30 ~ 17:30 > 「コミュニティソーシャルワークの視点による地域アセスメント」 地域アセスメントは、コミュニティソーシャルワーク実践における基礎的技法である。「個人のニーズが地域課題かどうかの検証」、「住民との問題共有時の資料」、「ケアマネジメントにおける活用可能な社会資源の検索」等々コミュニティソーシャルワーク実践時の展開の糸口として大切な技法であり、このワークショップではこれらの基礎的な地域アセスメント技法を修得する。 |
| 交流懇談会 | < 17:50 ~ 19:50 > 会場:調整中(会費 4,000円程度) |

2日目(7月11日)

| | |
|-------------|--|
| ワークショップ III | < 9:30 ~ 15:00 > 「コミュニティソーシャルワーク実践のプランニング」 このワークショップでは、個別アセスメントと地域アセスメントの統合によって個別支援と地域支援を結びつける視点を養い、個別ニーズに即した地域へのアプローチによって新たな社会資源を開発していくプロセスを学び、実践仮説に基づいたコミュニティソーシャルワーク実践のプランニング技法を修得する。 |
| 総括閉会 | < 15:10 ~ 16:20 > < 16:20 ~ 16:30 > |

< STEP2の内容 >

日程 2010年11月20日(土)～21日(日)

会場 東京都内(調整中)

(主な内容) 講義(チームアプローチ)、ワークショップ(実践分析・事例検討)

< STEP1会場のご案内 >



【JR山手線・西武新宿線】 高田馬場駅下車 徒歩20分
【地下鉄東京メトロ】 東西線 早稲田駅下車 徒歩5分
副都心線 西早稲田駅下車 徒歩17分
【都電】 早稲田駅 徒歩5分

《 講師陣紹介 》

大橋 謙策 (日本社会事業大学大学院) 宮城 孝 (法政大学)
田中 英樹 (早稲田大学) 小野 敏明 (田園調布学園大学)
原田 正樹 (日本福祉大学) 神山 裕美 (山梨県立大学)
菱沼 幹男 (日本社会事業大学)

特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-27 ロリエ市ヶ谷3F (担当: 呉世雄・安部・岡村)

TEL:03-5225-0237 FAX:03-5225-0238 Eメール:jicw@nifty.com

ホームページ: <http://www.jicw.jp/>

事務局は月曜日～金曜日に開所しております。お申し込みやお問い合わせは、
FAXまたはEメールにてお願い致します。(電話でのお問い合わせはご遠慮下さい)